

みんなで作ろう！

セーフコミュニティちちぶ

# 秩父市の概要



報告者 秩父市危機管理課 磯田欣央

# 概要① 本市の状況(人口・地勢)

人口: 61,159人 (2021年1月1日現在)

男: 29,913人

女: 31,246人

世帯数: 26,380世帯

面積: 577.83Km<sup>2</sup>  
(埼玉県の約1/6)



## 概要② 都心に近い観光地

- 都心に近く年間500万人以上が訪れる1年を通じた観光地  
春：芝桜の丘                      夏：アウトドア                      秋：龍勢まつり  
冬：秩父夜祭                      通年：札所34観音、サイクリング、登山
- 近年は、本市を舞台としたアニメやテレビCMで認知度がさらに高まる





# 概要② 都心に近い観光地



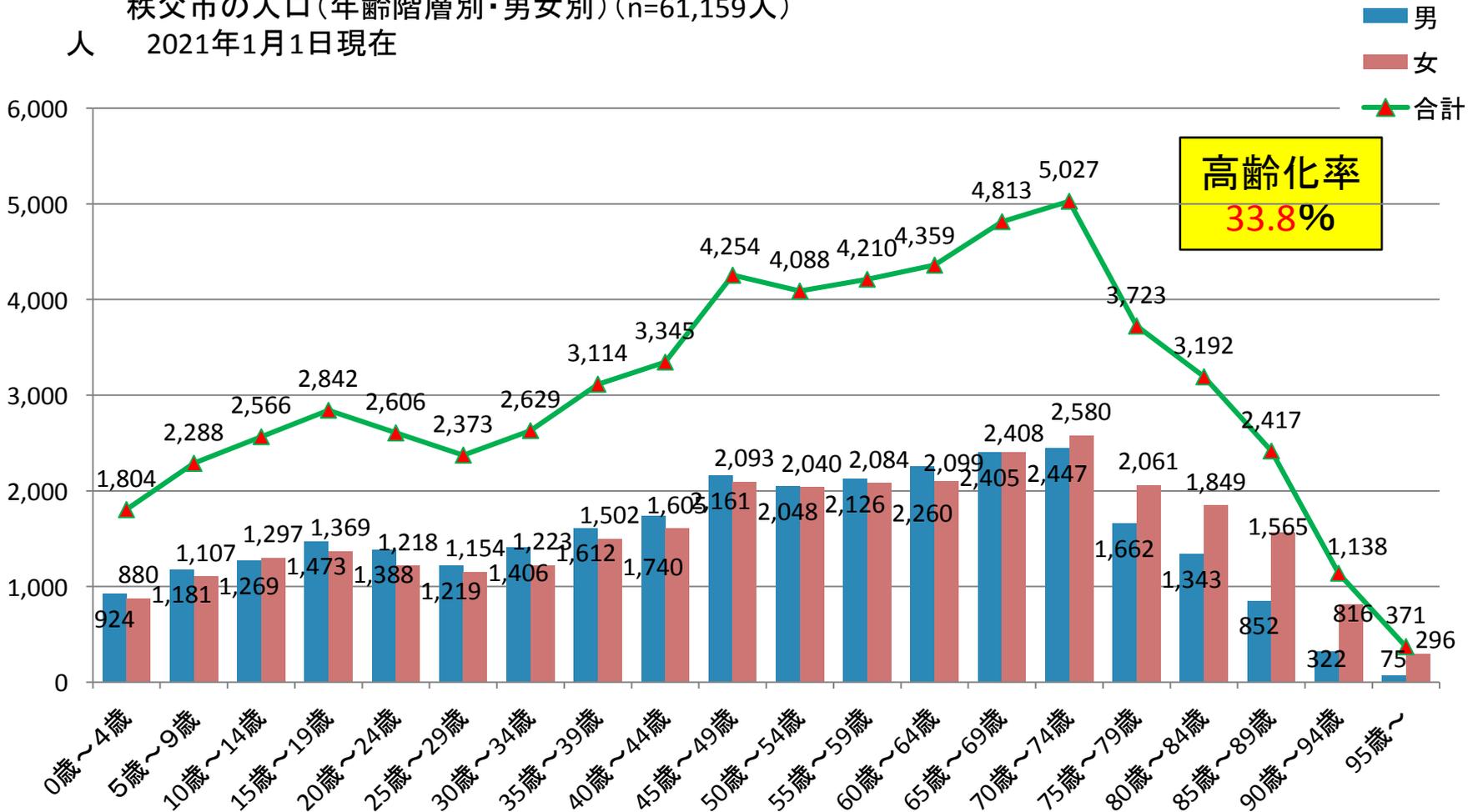


# 概要③ 人口構成

図表1

70歳～74歳が最も多く、若い世代ほど少ない。

秩父市の人口(年齢階層別・男女別)(n=61,159人)  
人 2021年1月1日現在

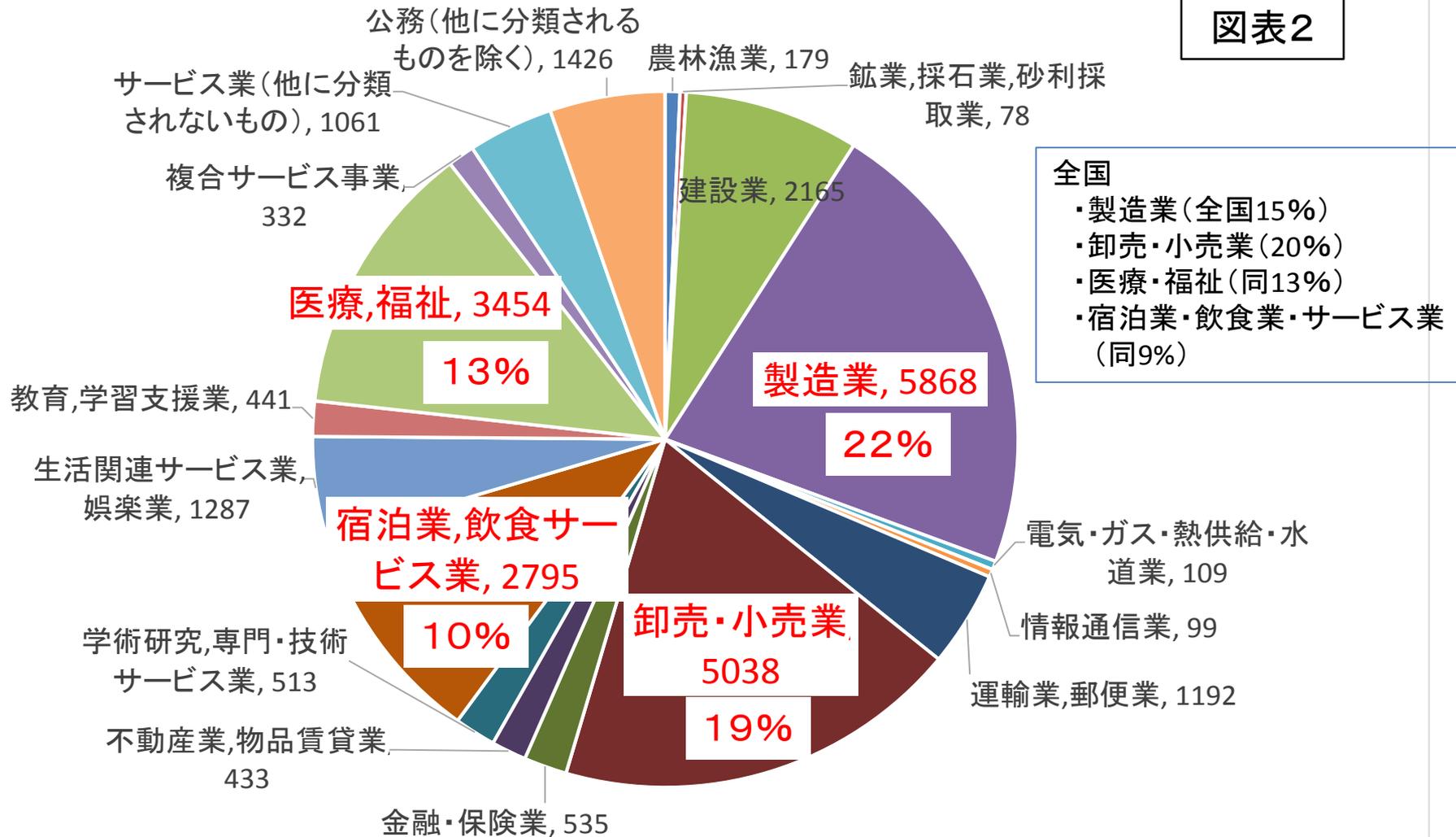


出典: 秩父市市民課



## 概要④ 産業構造

図表2



出典: 経済センサス(2016年)

# 概要⑤ 医療機関・学校等の状況

図表3

## 秩父地域の医療・教育の中心的役割

種 別		施設数	病床数
病 院	一般病院	5施設	445床
一般診療所		61施設	34床
歯科診療所		32施設	—

図表4

出典：埼玉県保健統計年報・医療機関事務処理状況報告（2020年12月1日現在）

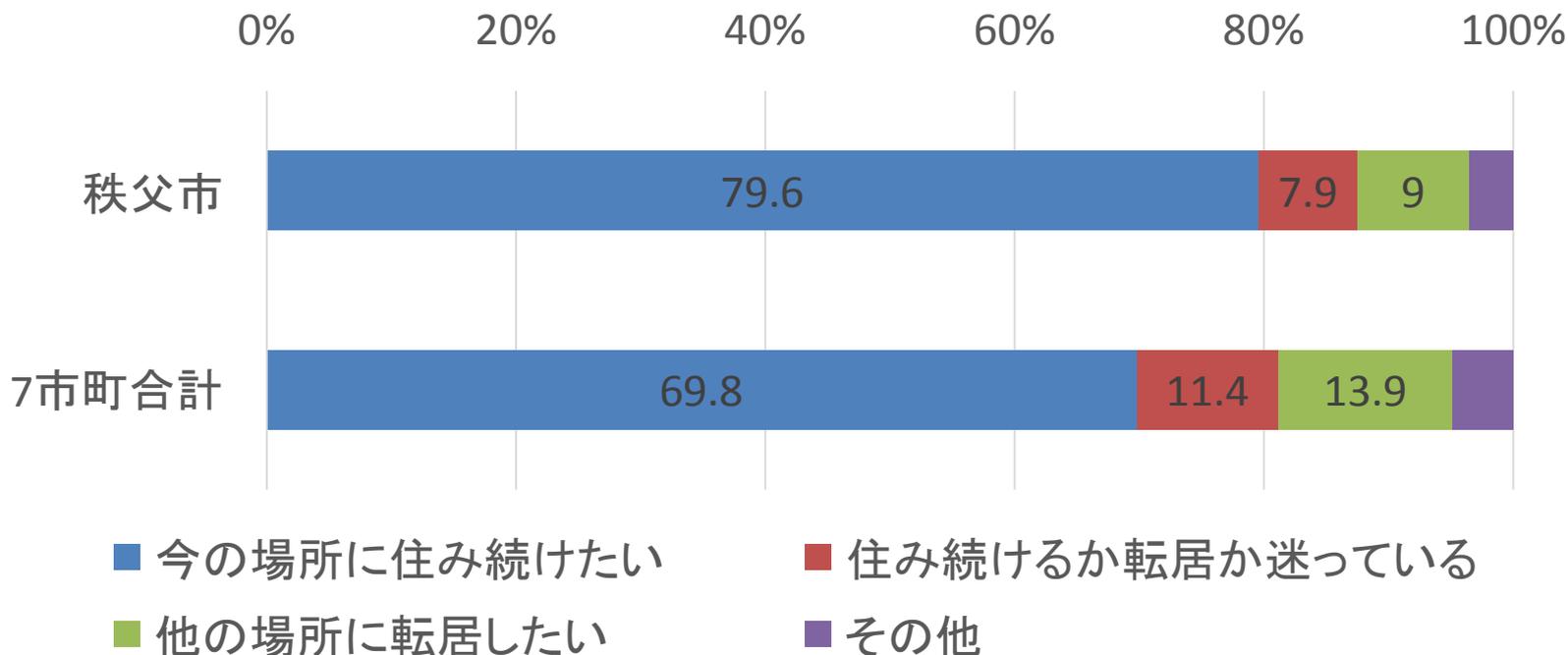
種 別	園/校数	児童/生徒数	備 考
保 育 園	4園	281人	公立のみ
幼 稚 園	2園	9人	公立2園
認定こども園	5園	1,483人	公立1園・私立6園
小 学 校	13校	2,835人	公立のみ
中 学 校	8校	1,551人	公立のみ
高等学校	2校	1,447人	公立のみ
特別支援学校	2校	129人	公立1校、私立1校
職業訓練校	1校	26人	県立のみ
専門学校	1校	87人	私立のみ

出典：秩父市（2020年5月1日現在）



## 概要⑥ 定住意思が高い

- ・「今の場所に住み続けたい」と思っている市民が約8割
- ・持ち家比率85.3%、居住年数20年以上83.4%  
(2016年安心・安全なまちづくりアンケート)



※ 7市町：川越市、秩父市、本庄市、戸田市、幸手市、小川町、鳩山町  
 出典：2015年 埼玉県・埼玉大学共同意識調査－人口減少に対応した地域づくり  
[https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/49895/03\\_kekka-shousaiban.pdf](https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/49895/03_kekka-shousaiban.pdf)





# SC着手の背景と経緯

- 背景① 縮小する人口(少子高齢化)
- 背景② 逼迫する財政状況
- 背景③ 協働のまちづくりの必要性



**地域が一体となった  
まちづくりが重要**

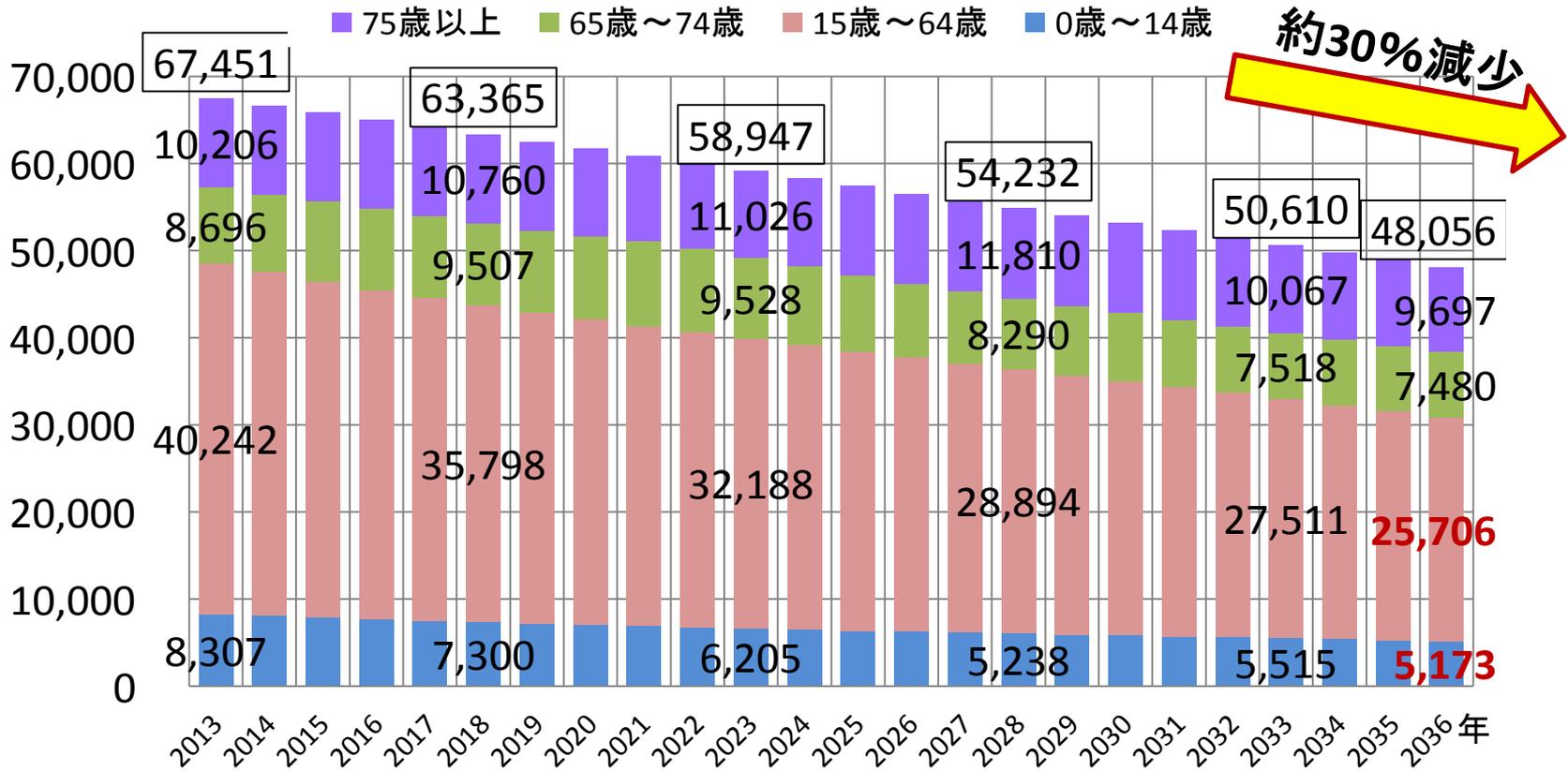


# 背景① 減少する人口

図表7

人口は今後も減少、少子高齢化が進む見込み  
20年で若い世代は約40%減少し、高齢化率は約36%

人



認証

出典：秩父市地域政策課

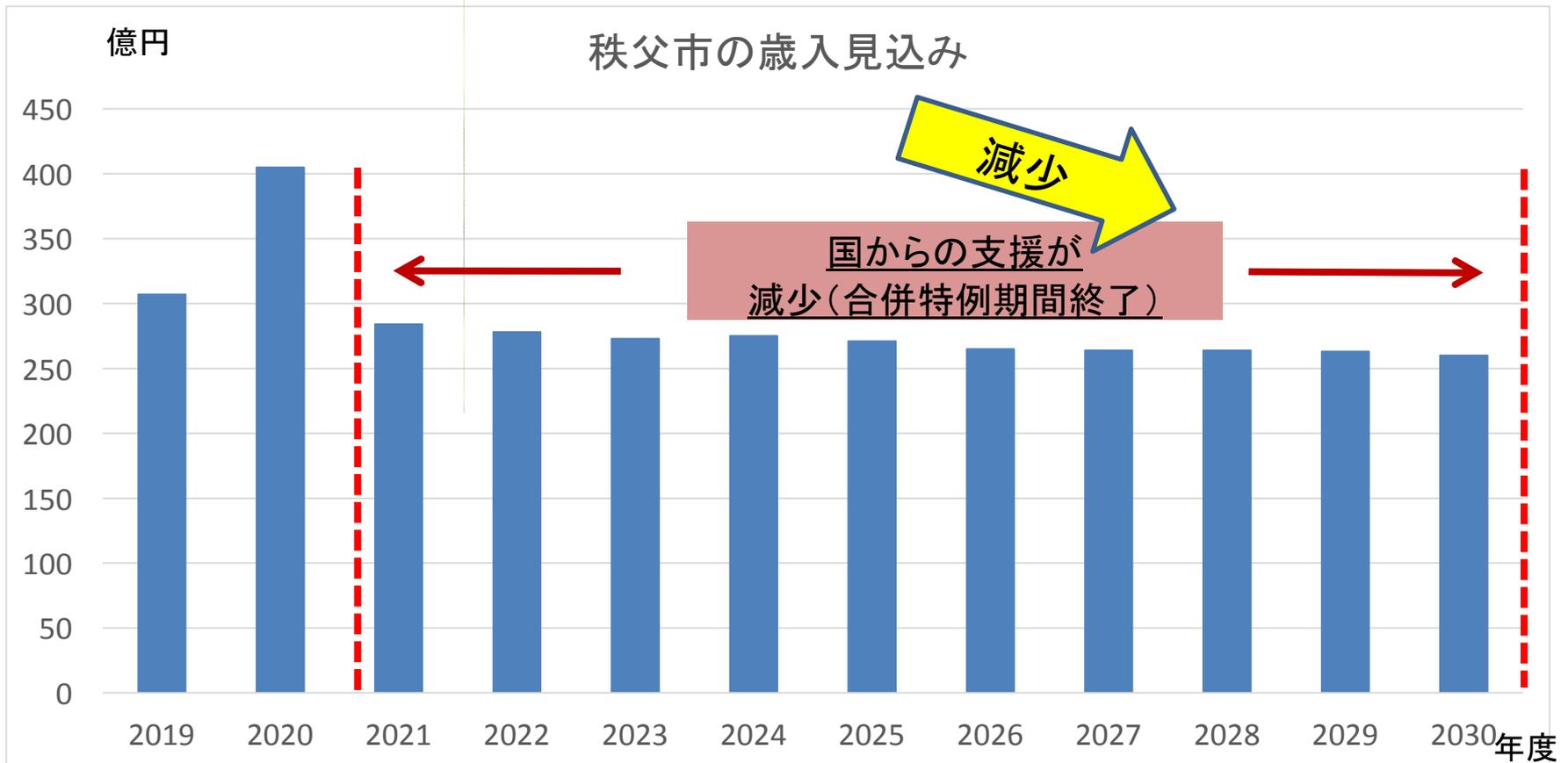


# 背景② 逼迫する財政状況

歳入は減少の見込み

👉 厳しいなかでの財政運営が求められている

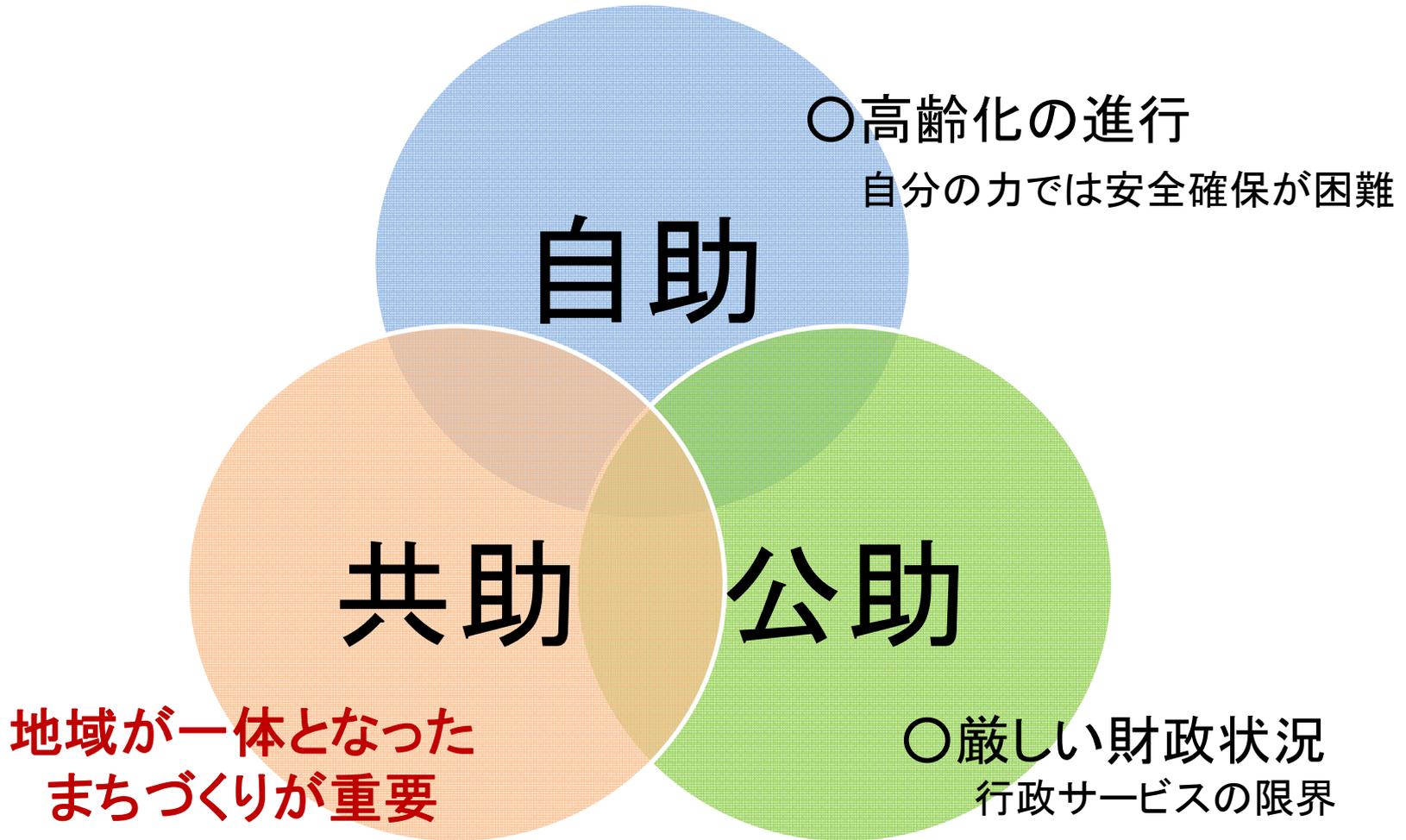
図表6



出典: 秩父市中期財政計画 第3次財政健全化計画(2021年)



# 背景③ 協働のまちづくりの必要



質の高い安心・安全なまちづくり



## 取組みの経過（抜粋）

年 月	内 容
2012年 5月	SC調査・研究に着手
2012年 9月	市議会において取組開始を宣言
2012年 11月	推進協議会を設置
2012年 11月	WHO協働センターに書簡伝達
2013年 8月	対策委員会を設置（7委員会）
2015年 5月	認証申請書を提出
2015年 7月	現地審査



2015年11月 セーフコミュニティ認証取得



# 認証取得後の歩み①(体制の強化と周知)

2016.3 セーフコミュニティ推進条例の制定

2017.10 セーフコミュニティ国際会議セルビア大会参加

2018.11 アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会参加

2016～ 毎年セーフコミュニティ記念イベント  
(活動報告会等)を開催

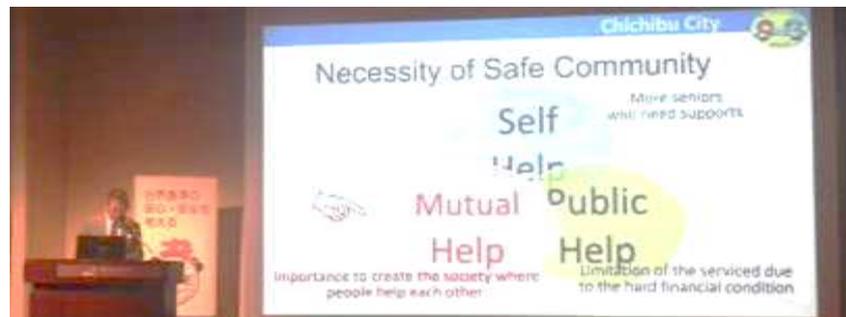




# SC国際会議セルビア大会



# アジア地域SC会議 厚木大会



## 認証取得後の歩み②(取組)

2016年 取組みの充実と周知活動の強化  
安全・安心なまちづくりアンケート調査(認知度48%)

2017年 協働型(市民参加型)の取組み検討・開始

協働①地区防災計画の策定  
(モデル地区)

協働②町会の小型除雪機による除雪作業開始





## 認証取得後の歩み②(取組)

2018年 各対策委員会委員の所属団体との連携強化

協働③隣組長によるパトロール  
(SCTトートバッグ配布)





# 認証取得後の歩み②(取組)

2019年 安全・安心なまちづくりアンケート調査  
(認知度54%)

協働④セーフドライブプロジェクト

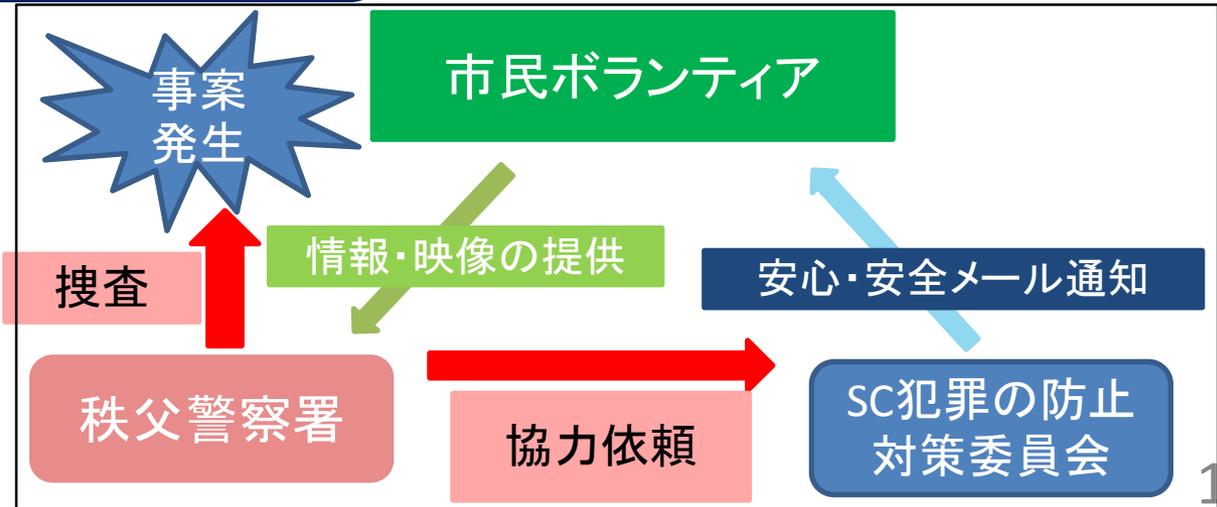
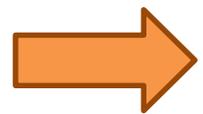
協働⑤目撃情報通報プロジェクト(犯罪・交通)

## 協働④セーフドライブプロジェクト

決められた速度や交通ルールを守り、安全走行(セーフティドライブ)に努める市民を募集。優良ドライバーを増やし、交通事故「0」を目指す。



## ⑤目撃情報通報プロジェクト



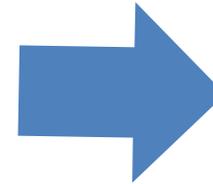


## 認証取得後の歩み②(取組)

### 2019年 協働⑥ 通報体制の強化(虐待・DV)

#### ⑥通報体制の強化(虐待・DV)

子どもや高齢者の虐待、DVを見かけた場合に、通報する。



関係機関  
へ連絡

※見てみぬふりを  
しない

### 2020年 協働型(企業・地域・個人推進型)プロジェクト を研究

コロナ感染症に関する取組み検討・開始



# 協働型取組み 研究中

## ⑦協働型(企業参加型)のプロジェクト

セーフコミュニティ推進事業所

賛同・協力いただける企業・事業所を「推進事業所」に認定⇒協働で取組みを推進

## ⑧協働型(地域参加型)のプロジェクト

セーフコミュニティ推進町会(地域)

賛同・協力いただける町会(地域)を推進町会(地域)に認定⇒協働で取組みの実施・研究

## ⑨協働型(個人参加型)プロジェクト

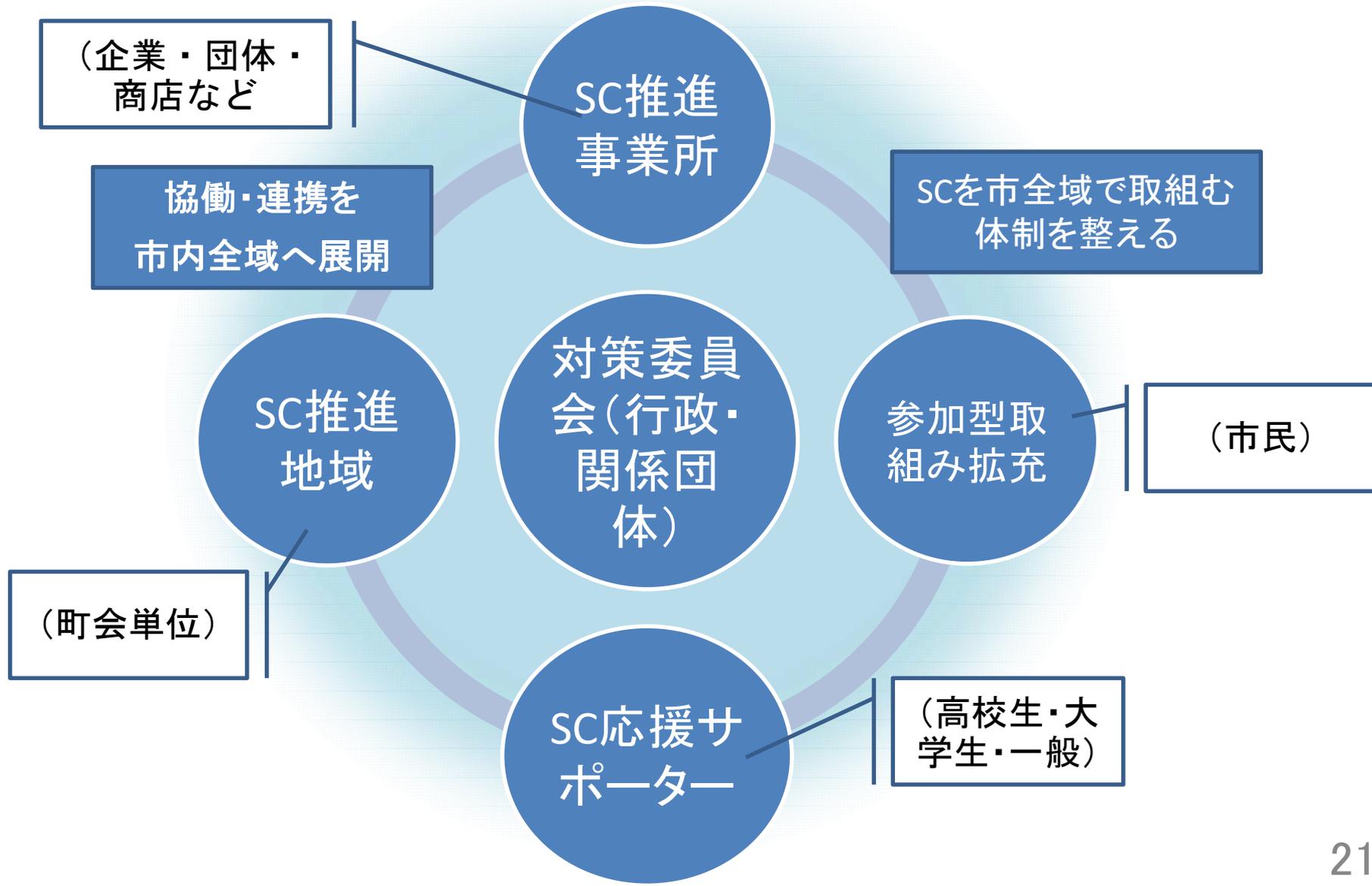
セーフコミュニティ応援サポーター

賛同・協力いただける方を応援サポーターとして認定⇒取組みの実施・協力・立案

➡ すでに協力いただいている事業所、モデル町会として調査している町会、デザインなどで協力いただいている大学生・高校生から登録を研究していく。



# 協働体制の確立





## 国の研究機関との連携 → 根拠ある取組へ

(最近の事例) 子どもの安全対策委員会

- ・危険予測学習
- ・出前講座(スマートフォン、自転車ヘルメット、スポーツの安全など)
- ・部活動(野球部フェイスガード着用研究)の安全

危険予測学習



スポーツ外傷



フェイスガード

スポーツ外傷: 自打球で眼の傷害



今後の研究→ケガのリスクが高いものへの対策(子どもの安全対策委員会と連携)

- ・子どもの窒息予防(生産品に子どもの喉の大きさを掲載した注意喚起シールを貼付)
- ・スマホやタブレットによる家庭内オンライン診断(危険があるかを教えてくれる)
- ・幅跳び、鉄棒のケガ予防(跳び方や予防運動を理学療法士に助言いただく)
- ・跳び箱による傷害予防(跳び方を分析し、トレーニングメニューを教えるソフト)



## 国の研究機関との連携①-2 → 根拠ある取組へ

危険予測学習



危険箇所を考え、  
対応する力を養う



出前講座: けが予防、ヘルメット



フェイスガード



フェイスガードを  
着用し、  
打撃練習



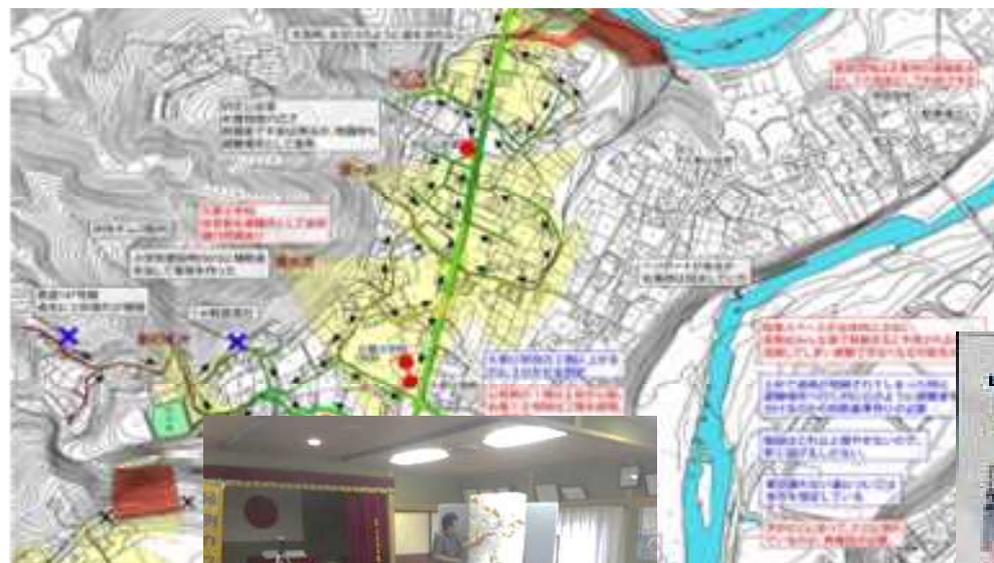
実用化に向  
けて研究中



# 大学との連携 → 根拠ある取組へ

明治大学  
建築学科

- (事例) 災害時の安全・子どもの安全対策委員会
- ・逃げ地図(避難計画図)の作成→地区防災計画の策定
  - ・まちなか点検(ISS学区の通学路点検を実施)







# 大学との連携②-2 → 根拠ある取組へ

## 東洋大学人間環境デザイン学科

(事例) 子どもの安全・高齢者の安全対策委員会  
 ・子ども家庭内事故予防リーフレットデザインの作成  
 ・高齢者の転倒予防リーフレットデザインの作成

高齢者



新版



旧版



子ども





# 企業(事業所)との連携

## 工事現場の仮囲いを活用



## マグネットシートの作成

ひとりでも相談しましょう!!  
 悩まず...この番号も24時間いつでも!!

●自殺予防 (まねがい、相談がい、自殺者の親子が救済)

こころの健康相談 0570-064-556  
 統一ダイヤル

●虐待 (子ども・女性・高齢者・障がい者等)

埼玉県虐待通報ダイヤル 0471-7171

●詐欺被害 (振り込め詐欺、架空請求詐欺など)

秩父警察署 0494-24-0110  
 小鹿野警察署 0494-75-0110

世界基準の安全・安心なまち  
 セーフコミュニティ秩父

査定・相談無料! 空き家ご相談ください!

土地 建物 買取ります!

0120-367-668

T 088 0001 株式会社 2081



# 対策委員会の連携



交通安全対策委員会

高齢者の安全対策委員会

子どもの安全対策委員会

取組みを同時に行うことで活動回数  
や実施者を増やす



## 市民参画推進のための広報活動

### 市報ちちぶ(セーブコミュニティだより)による啓発活動

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年4月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(4月～5月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年5月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(5月～6月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年6月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(6月～7月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年7月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(7月～8月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年8月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(8月～9月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年9月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(9月～10月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年10月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(10月～11月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年11月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(11月～12月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2018年12月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(12月～1月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2019年1月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(1月～2月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2019年2月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(2月～3月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回

#### セーブコミュニティだより

市民参画推進のための工夫⑤

2019年3月号

発行部数: 200部

発行期間: 1ヶ月(3月～4月)

発行回数: 360回

発行場所: 秩父市役所

発行時間: 10時～17時

発行曜日: 月～金

発行回数: 360回



## 市民参画推進のための広報活動⑤-2

ちちぶエフエム(ラジオ)、おもてなしテレビ(インターネットTV)を活用した啓発



今後：人が集まるスペースを活用した広報活動  
(図書館、市民会館、公民館、商業施設など)



# 市民参画の推進のための広報活動⑤-3 活動報告会でのSC活動の呼びかけ

## 今日からできるSC活動（7委員会）

### 1. 犯罪

- ①見守り・パトロール
- ②防犯カメラ設置(自宅)
- ③目撃情報プロジェクトへの参加

### 2. 自殺

- ①ゲートキーパの協力  
「普段と様子が違う」→「声をかける」「相談窓口につなげる」

### 3. 子ども

- 見守り放送が聞こえたら  
↓  
①登下校の見守り

### 交通

- ①反射材の着用



### 災害

- ①安心・安全メール登録
- ②ハザードマップの確認



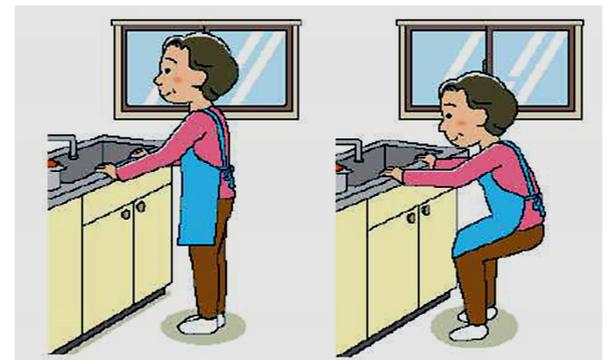
### 自然

- サイクリング(自転車乗車)時の
- ①ヘルメットの着用
  - ②走行前(タイヤ、ブレーキ)点検



### 高齢者

- ①お茶のみ体操の実践
- ②自宅内整理・整頓

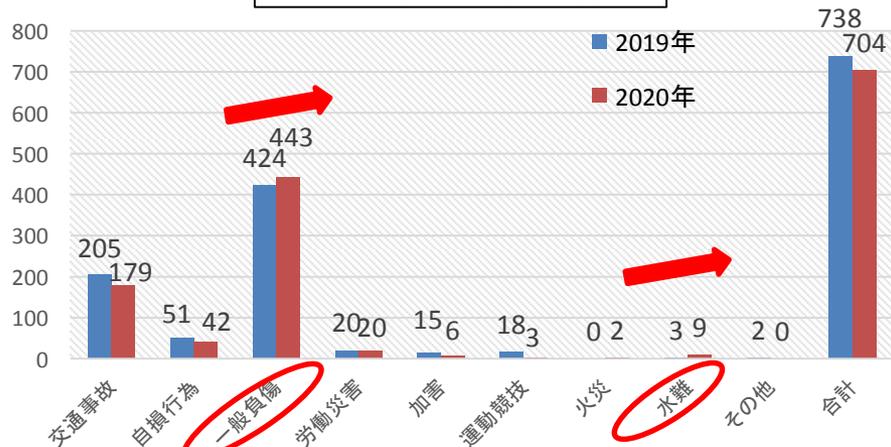


# 新型コロナウイルス感染症に関する 取組み検討・開始

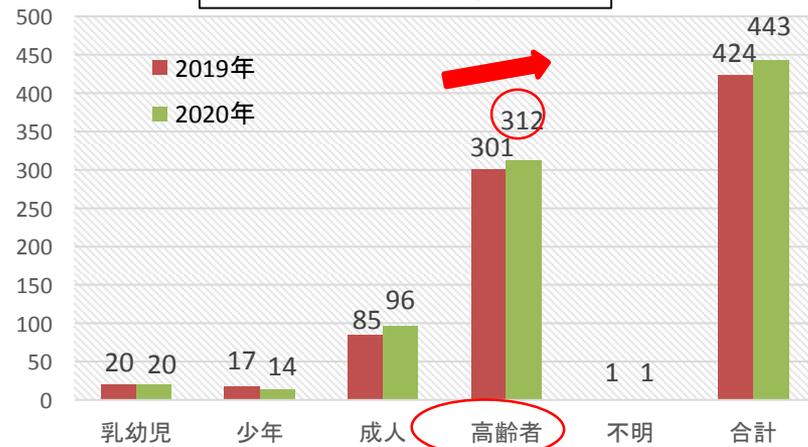
# 各種データの状況1

## 救急搬送データ

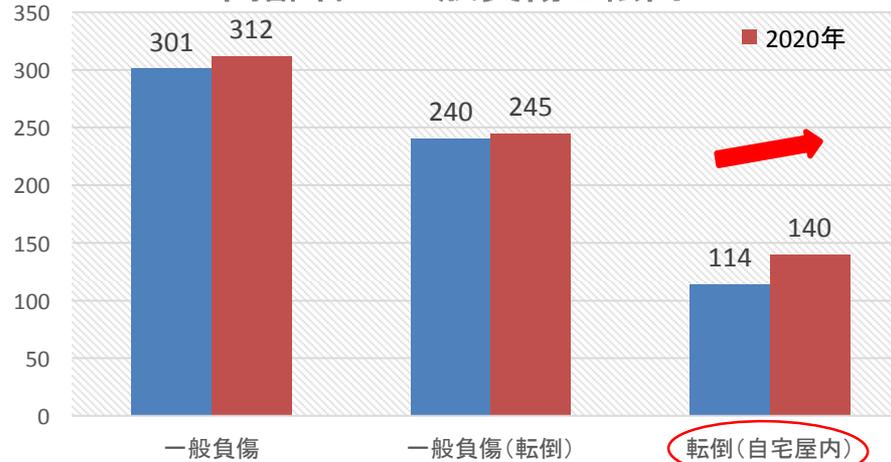
### 種別別救急搬送件数



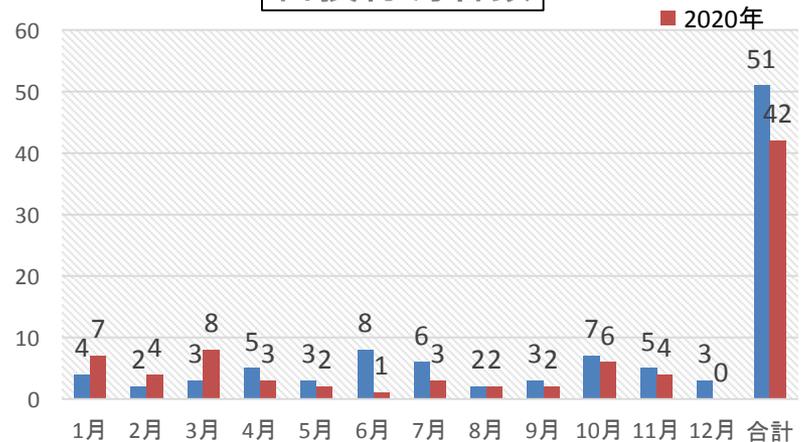
### 階層別一般負傷件数



### 高齢者の一般負傷と転倒



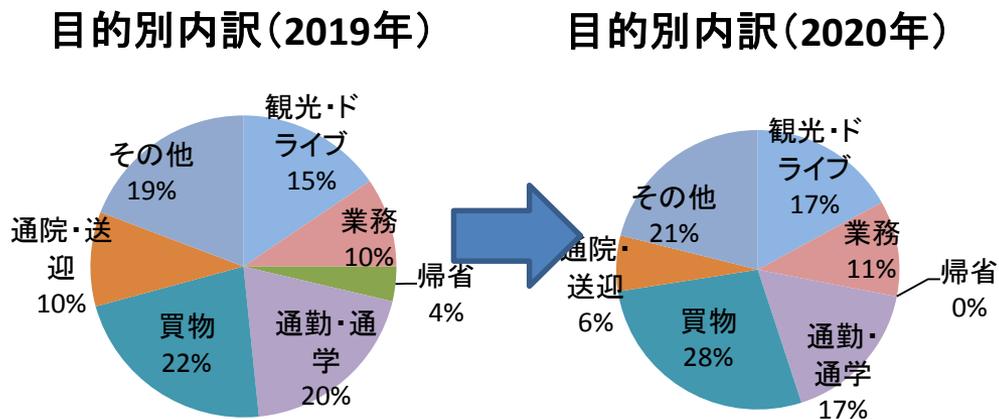
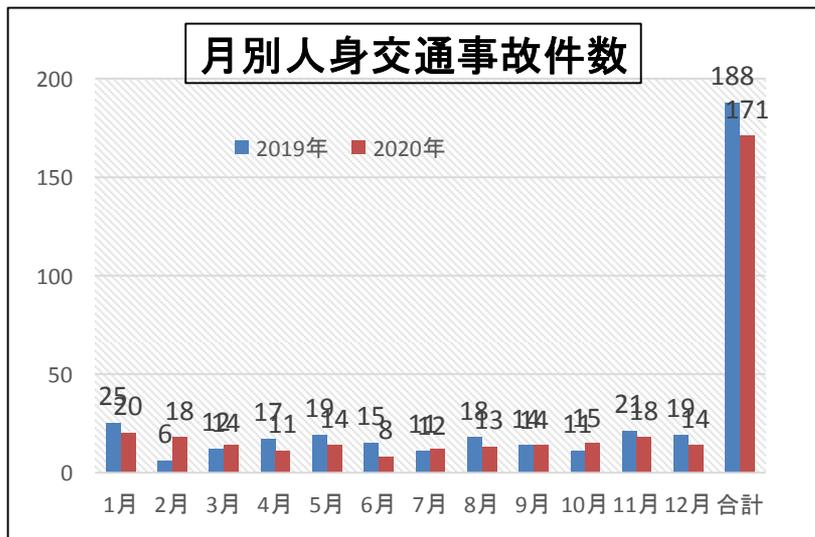
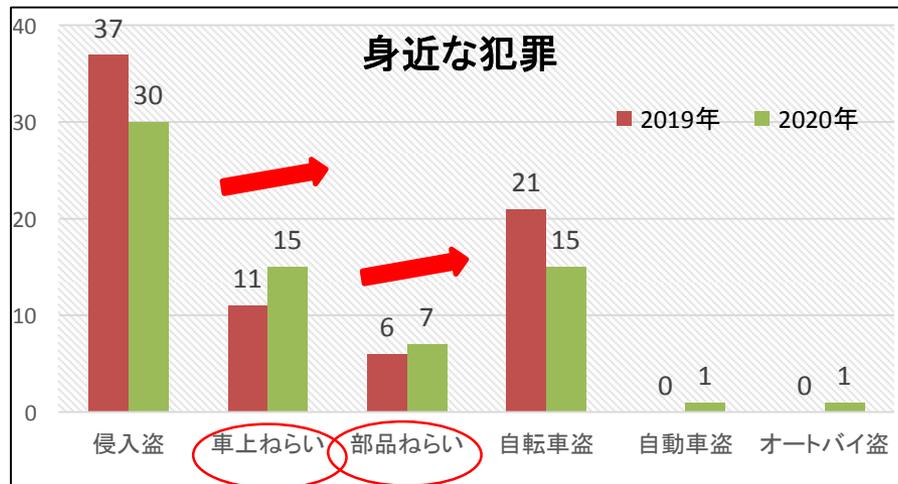
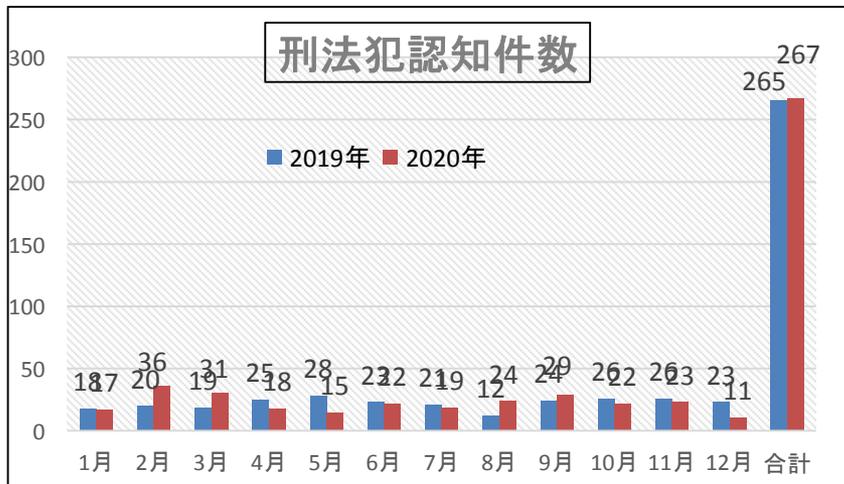
### 自損行為者数





# 各種データの状況2

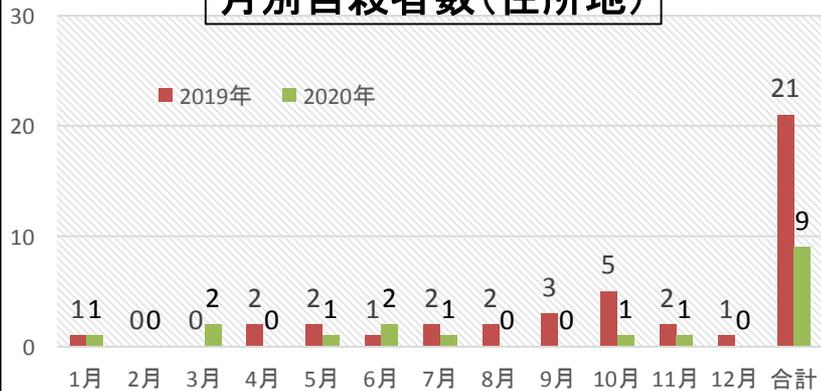
## 警察統計



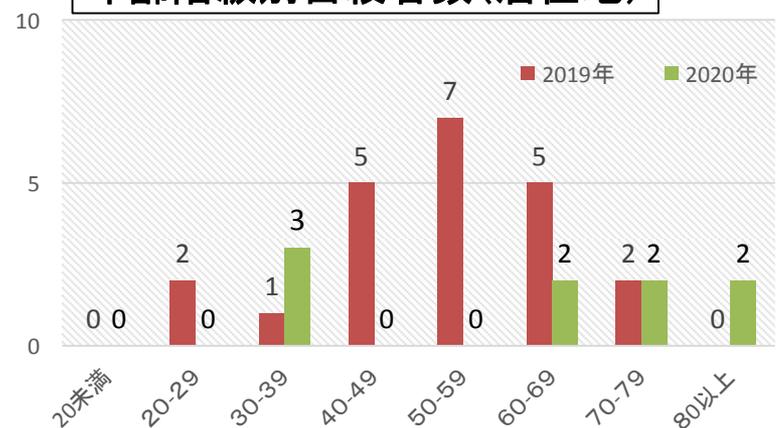
# 各種データの状況3

## 自殺統計

### 月別自殺者数(住所地)

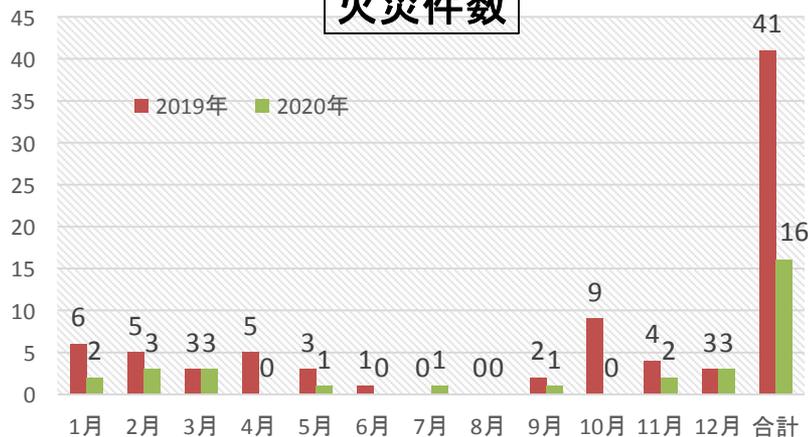


### 年齢階級別自殺者数(居住地)



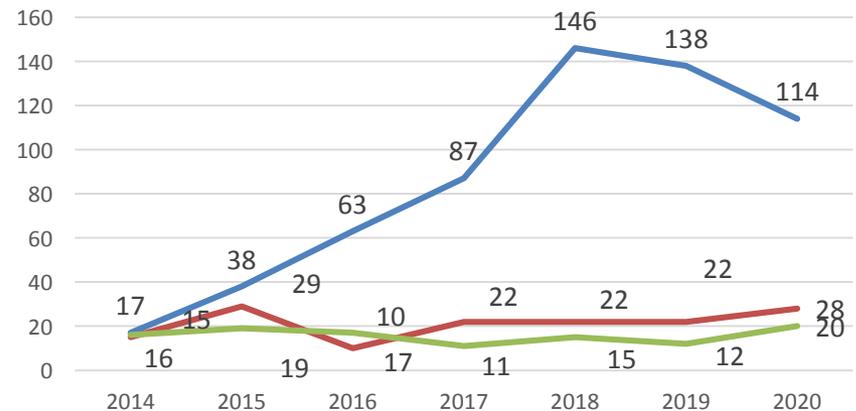
## 火災統計

### 火災件数



## 虐待統計

### 虐待・DVの相談件数



# 各種データの状況4

## 新型コロナウイルスに関するアンケートを実施

高齢者

子ども

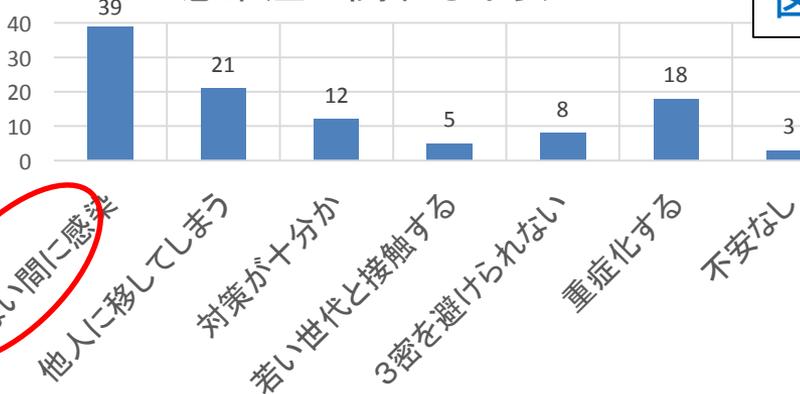
- \* 感染症への不安では、知らない間に感染することへの恐怖が高い
- \* 感染症対策では、こまめな手洗いが3人に1人しか行われていない

- \* 感染症への不安では、自分が子どもに移すこと、知らない間に感染することへの恐怖が高い
- \* 感染症対策では、マスクの着用が約7割、手洗いは約8割5分である。

n=49人

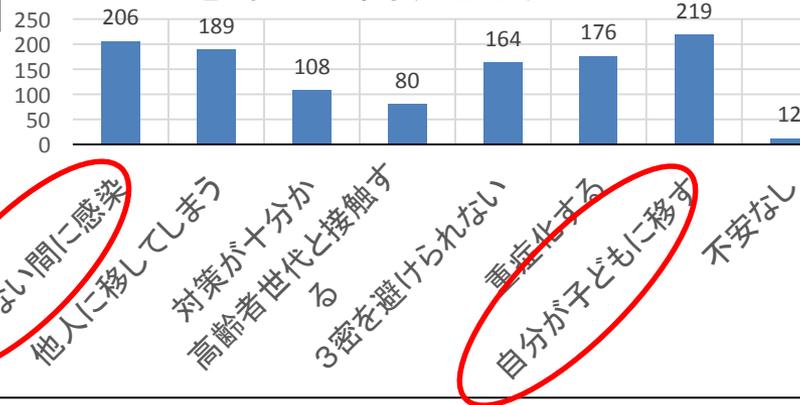
感染症に関する不安

図表④1



n=321人

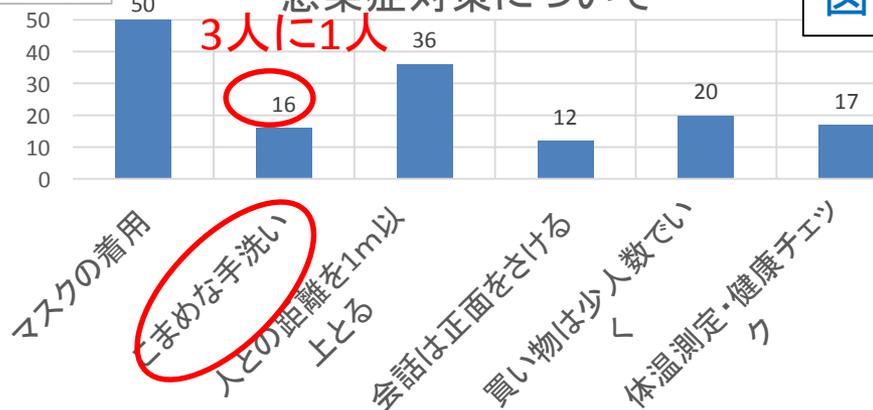
感染症に関する不安



n=50人

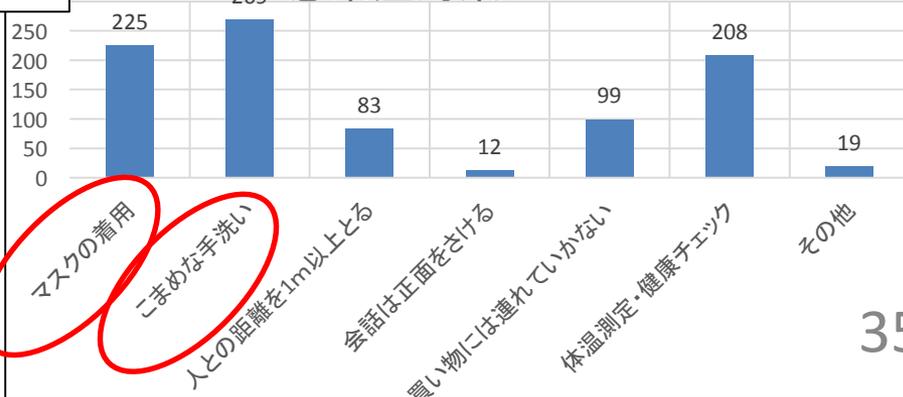
感染症対策について

図表④2



n=321人

感染症対策について



# 正副委員長会議

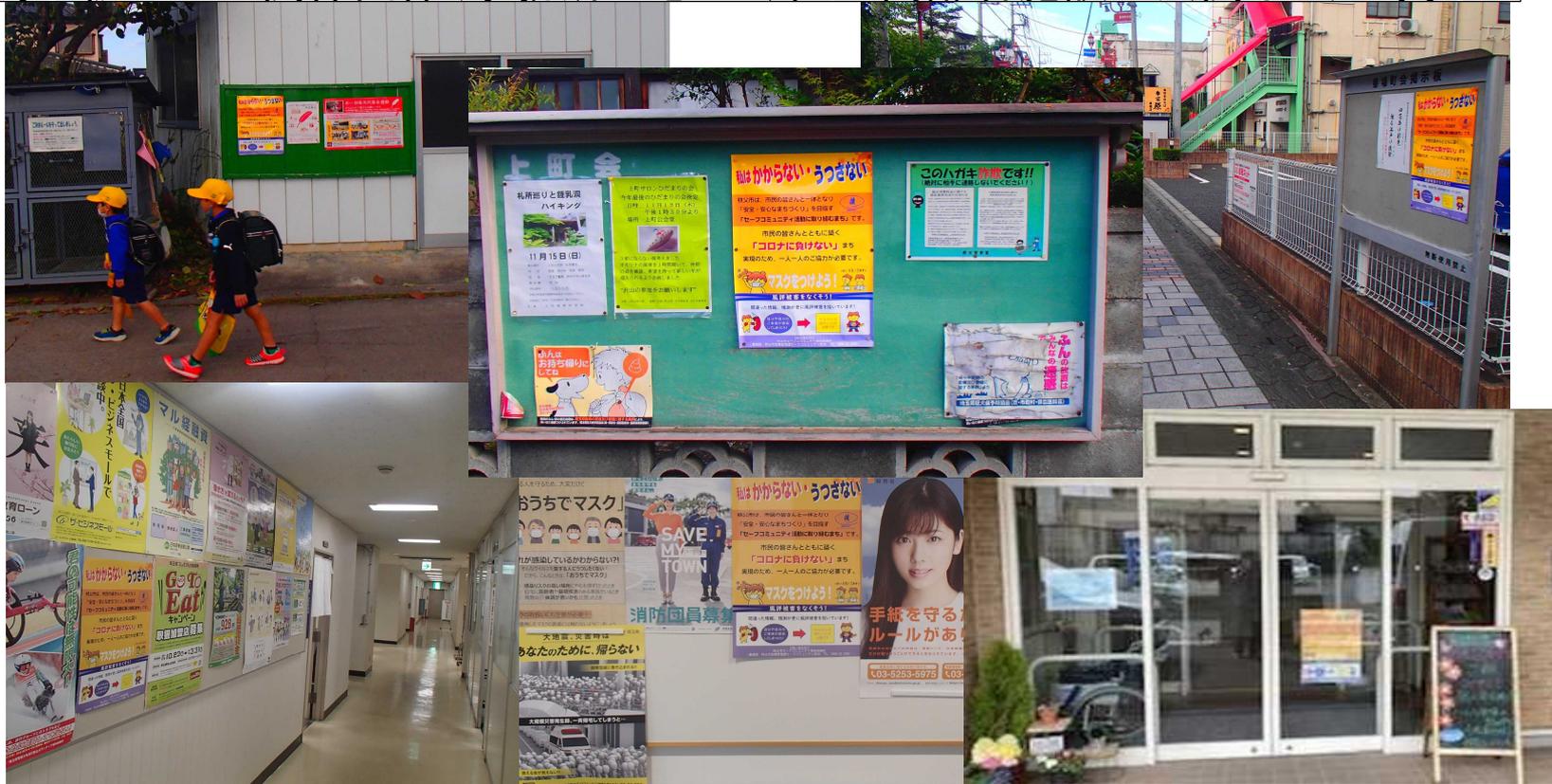


リモートで参加: 白石代表理事

新型コロナウイルス感染症に関する対策を  
研究・議論していく場として正副委員長会議  
を設置

# コロナに「かからない・うつさない」、 「風評被害を生まない」呼びかけ

掲示板のほか関係団体(事務所の窓口・廊下・高齢者施設の玄関など)に掲示



市民と協働(一体)となり、「コロナにかからない・うつさない街」に取り組む

# 各対策委員会でも取組む

公衆トイレ等に感染予防シール



チラシの配布

帰ったら **すぐ手洗い!**

手洗い忘れずに

高齢者対策について(高齢者50人の回答)

対策項目	実施割合 (%)
マスクの着用	100
手洗いの実施	8人に1人
他の予防方法	10
その他	20
その他	17

高齢者に行ったアンケートでは、マスクの着用が100%に対し、手洗いの実施は8人に1人と他の予防方法と比較しても実施割合が低くなっています。

感染症対策の基本は、手洗い・マスクの着用です。マスクの着用とともに、**手洗いを習慣化させましょう!**

高齢者の安全対策委員会

ポテくまくんからのお願い

ようこそ秩父へ  
僕からお願いがあるよ。

交通事故と感染症に気を付けて、  
秩父の秩父を楽しんでね!

みんなで気を付けて**最高の思い出**を!

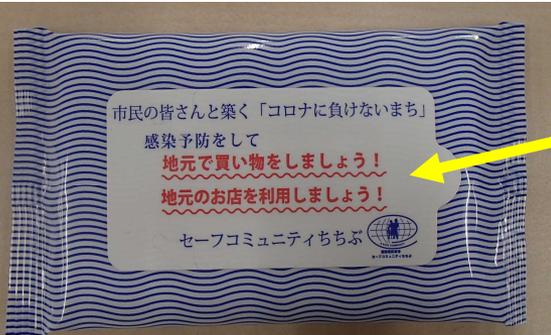
秩父市交通安全広報大使 ポテくまくん

ずっと住み続けたい「日本・安全・安心なまち」をめざして  
セーフコミュニティちぢぶ 交通安全対策委員会

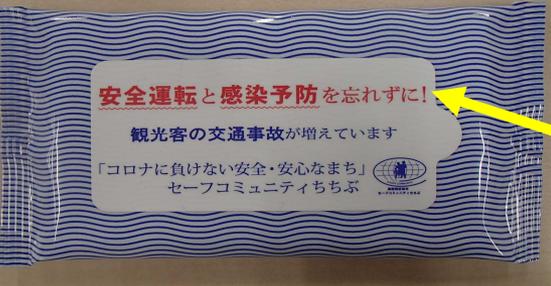
セーフコミュニティについて ホームページで公開中

ポテくまくんのアフレコ インスタグラムを見てね!

地元の店の利用を呼びかける



安全運転と感染予防を呼びかける



## 認証後の変化(質的成果)

- ①体制の強化と周知
- ②市民参画の推進
- ③連携の推進
- ④取り組みの工夫
- ⑤コロナ感染症に関する取組み検討・開始



## 7指標に基づいた取り組み

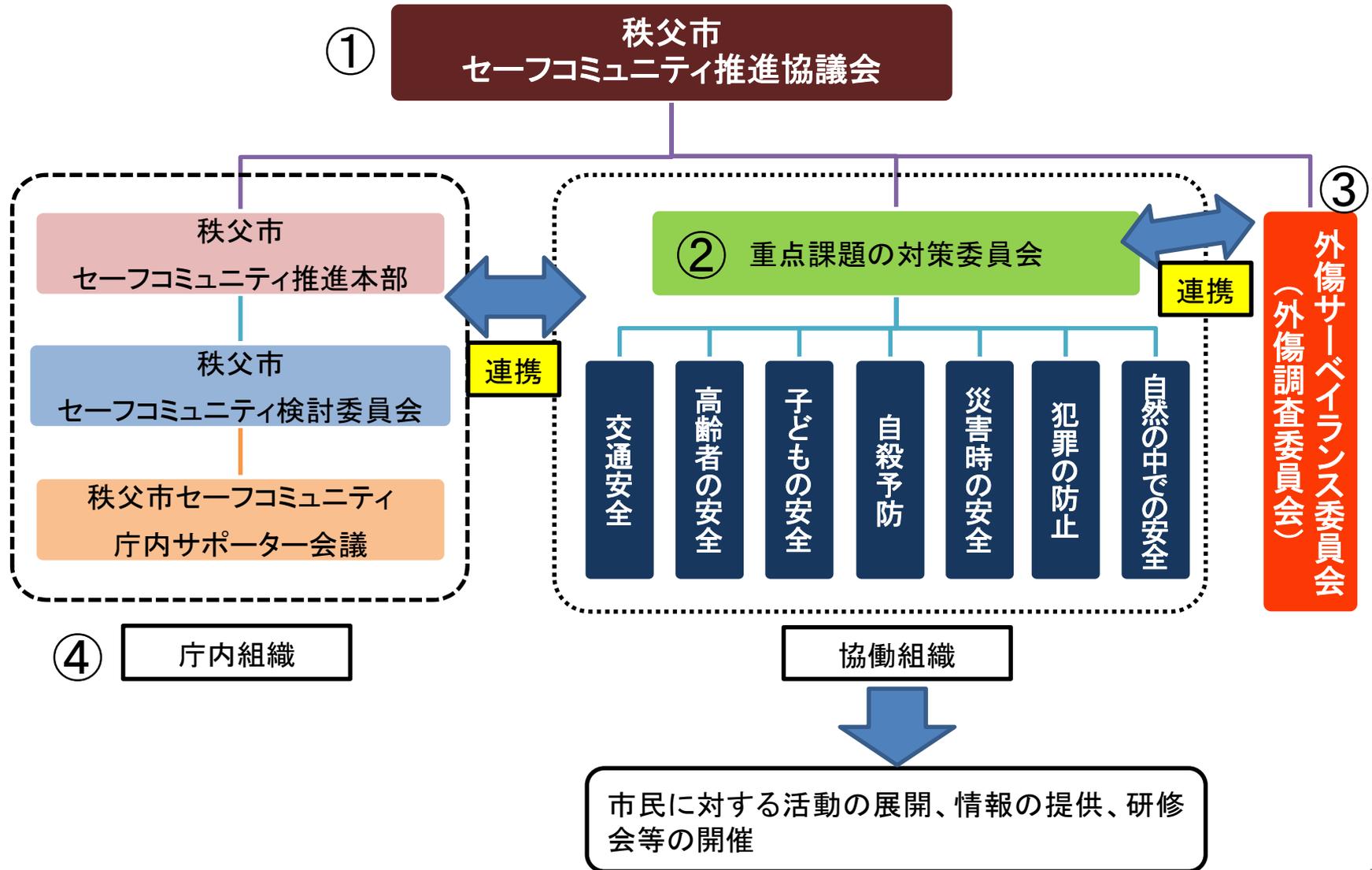
1. 分野横断的な協働・連携の仕組み
2. 全ての性別・年齢・環境・状況を網羅する、継続的な予防活動の実施
3. ハイリスクグループの集団や環境に焦点を当てた予防活動の実施
4. あらゆる入手可能な『根拠』に基づいた予防活動の実施
5. 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み
6. 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み
7. 国内外のセーフコミュニティネットワークへの継続的な参加

※指標1～7の詳細は、補足説明書34ページ以降の「第4章 7つの指標に基づいた取り組み」を参照





# 指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み





# 指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み

① SC推進協議会



② 対策委員会



④ 検討委員会



④ 推進本部会議



④ 庁内サポーター会議





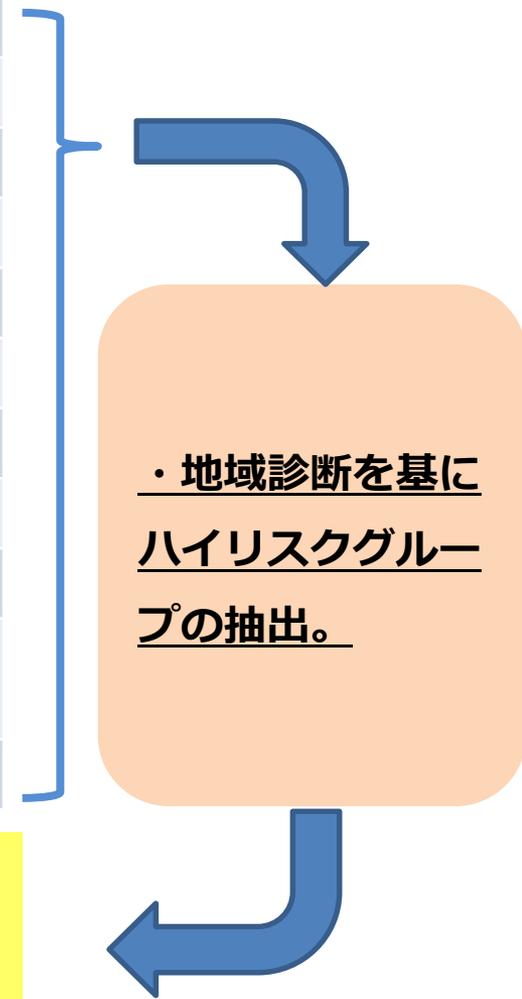
## 指標2 全年齢・環境を網羅する予防活動(一部抜粋)

		子ども	青年	成人	高齢者
生活環境	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達支援巡回</li> <li>乳幼児健診</li> <li>啓発パンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・生活支援相談</li> <li>糖尿病教室</li> <li>障がい者相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・生活支援相談</li> <li>糖尿病教室</li> <li>障がい者相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいコール事業</li> <li>介護予防事業</li> <li>緊急通報システム事業</li> </ul>
	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の安全点検</li> <li>子ども110番の家</li> <li>AEDの設置、講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動</li> <li>救急・AED講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動</li> </ul>	
	職場		<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労支援</li> <li>労働災害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労支援</li> <li>労働災害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害防止</li> </ul>
	交通(公共)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室</li> <li>登下校の見守り</li> <li>交通安全運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室</li> <li>交通安全運動</li> <li>飲酒運転撲滅運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動</li> <li>飲酒運転撲滅運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室</li> <li>交通安全運動</li> <li>飲酒運転撲滅運動</li> </ul>
	余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供向け水泳教室</li> <li>AED講習会</li> <li>熱中症予防講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急・AED講習会</li> <li>施設の安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急AED講習会</li> <li>施設の安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバースポーツ大会</li> <li>救急AED講習会</li> </ul>
意図的	暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待への対応</li> <li>DV等の対象発見と相談実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV相談</li> <li>暴力排除事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV相談</li> <li>暴力排除事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者虐待相談</li> <li>暴力排除事業</li> </ul>
	自殺		<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防講演会</li> <li>こころの相談</li> <li>予防パンフレットの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防講演会</li> <li>こころの相談</li> <li>多重債務の相談</li> <li>ゲートキーパーの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自殺予防講演会</li> <li>こころの相談</li> <li>ゲートキーパーの養成</li> </ul>
災害		<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所、学校等での避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉避難所の設置</li> <li>各公共施設での避難訓練</li> <li>自主防災訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉避難所の設置</li> <li>各公共施設での避難訓練</li> <li>自主防災訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者登録台帳の整備</li> <li>自主防災訓練</li> </ul>



# 指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた予防活動

番号	グループ
1	先住民
2	低所得層
3	コミュニティにおけるマイノリティ
4	犯罪被害や自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人
5	虐待を受ける女性・男性・子ども
6	精神的疾患・発達障害及び他の障がいをもつ人
7	安全でないスポーツ、余暇活動に参加している人
8	ホームレス
9	自然災害において外傷のリスクにある人
10	特定の道路や交差点、水害被害想定地などハイリスクの観光の近くで生活したり働いたりしている人
11	宗教、民族および性的な嗜好によりハイリスクにある人



・ 既存の取組の整理と改善及び新規取組み



# 指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた予防活動

ハイリスクグループ	① 高齢者(交通事故、転倒によるケガ、虐待)	交通・高齢者の安全対策委員会
	② 子ども(交通事故、自宅・学校のケガ、虐待)	交通・子どもの安全対策委員会
	③ 身体障がい者(自然災害、見守り)	災害・高齢者の安全対策委員会
	④ 自殺のおそれがある者	自殺予防対策委員会
	⑤ 自然災害によるリスクのある人	災害時の安全対策委員会
ハイリスク環境	① 大雪で孤立した地域がある	災害時の安全対策委員会
	② 土砂災害危険地域が多い	災害時の安全対策委員会
	③ 交通事故が多発している場所	交通安全対策委員会

## 指標4・指標5・指標6

指標  
4

あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み

指標  
5

外傷の頻度と原因を記録する仕組み

指標  
6

取組みの効果・影響を測定・評価する仕組み



各対策委員会・外傷サーベイランス委員会の活動報告で説明

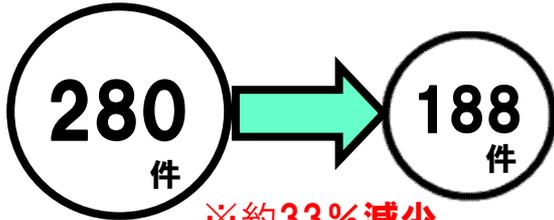


# これまでの取組みの成果(数字的効果①)

## 交通安全

【人身交通事故件数】

2012年(SC取組み前) 2019年(R1年)



※約33%減少

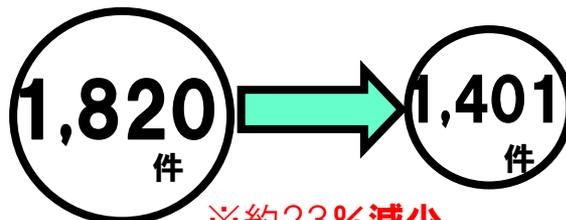
出典:警察統計



## 子どもの安全

【取組みモデル3校でのケガの発生件数】

2014年度(カウント開始) 2019年(R1年)



※約23%減少

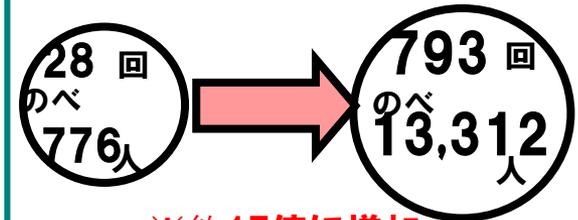
出典:モデル校3校保健室



## 高齢者の安全

【お茶のみ体操実施者数】

2013年(SC取組み年) 2019年(R1年)



※約17倍に増加

出典:地域医療対策課



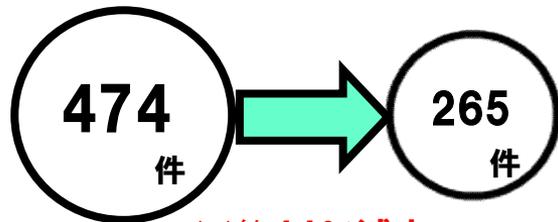


## これまでの取組みの成果(数字的効果②)

### 犯罪の防止

【刑法犯の認知件数】

2012年(SC取組み前)      2019年(R1年)



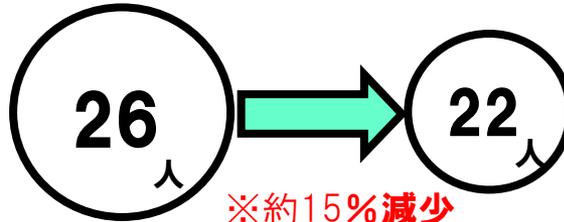
※約44%減少

出典:警察統計

### 自殺予防

【自殺者数(市民)】

2010年(SC取組み前)      2019年(R1年)



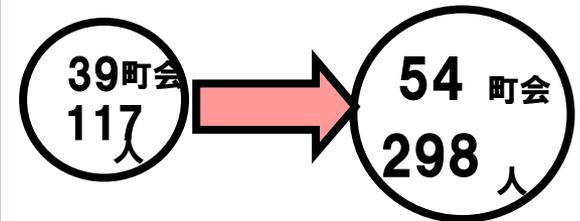
※約15%減少

出典:秩父保健所

### 災害時の安全

【防災リーダーの育成者数】

2014年(取組み前開始)      2019年(R1年)



※約2.5倍に増加

出典:危機管理課





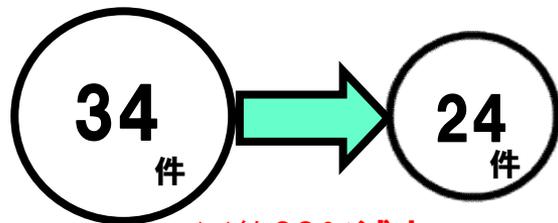


## これまでの取組みの成果(数字的効果③)

### 自然の中での安全

【山岳遭難事故件数】

2012年(SC取組み前)      2019年(R1年)



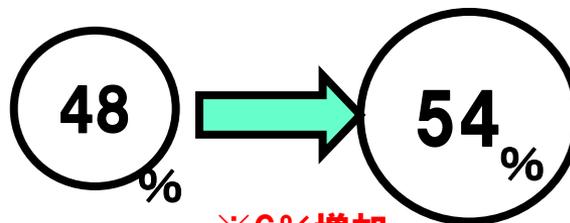
※約29%減少

出典:警察統計



### SC周知度

2016年度(H28年度)      2019年(R1年)



※6%増加

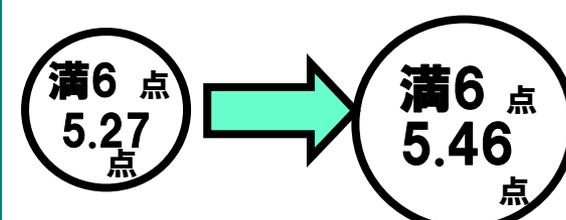
出典:安全・安心なまちづくに関する市民意識調査アンケート



### 市民満足度

重要度 【防犯対策の強化】

2012年(SC取組み前)      2016年(H28年)

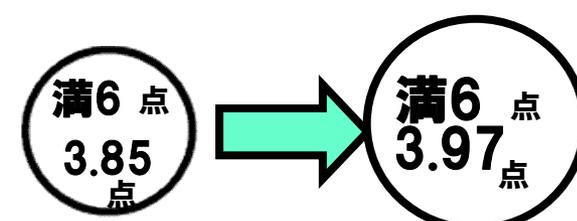


※0.19点増加

出典:市民満足度調査

満足度

2012年(SC取組み前)      2016年(H28年)



※0.12点増加

出典:市民満足度調査

# これまでの取組みの成果(数字的効果④)

## 国民健康保険加入者の医療費の状況

(単位：円)

	骨折	骨そしょう症	うつ病	認知症	統合失調症	合計	差額 (2016年基準)
2016年	48,015,590	44,065,060	122,932,550	10,983,280	277,815,240	503,811,720	0
2017年	58,810,890	45,083,490	88,209,760	19,996,550	263,070,560	475,171,250	-28,640,470
2018年	74,885,630	46,501,080	83,346,800	20,038,710	198,202,800	422,975,020	-80,836,700
2019年	65,314,490	51,074,510	75,876,090	24,632,330	224,248,860	441,146,280	-62,665,440
2020年	69,124,410	38,068,960	74,965,520	20,641,420	179,946,240	382,746,550	-121,065,170
合計	316,151,010	224,793,100	445,330,720	96,292,290	1,143,283,700	2,225,850,820	-293,207,780

取組みに関する集計可能な医療費、2016年から差額をみると・・・



4年間で医療費合計額の削減額は**約3億円**

# インターナショナルセーフスクール

- 安全に関する児童・生徒の自発的な発言・行動
- 保健室データによるケガの件数が減少

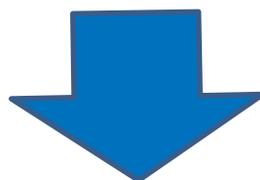
2018年11月 再認証

秩父第二中学校

花の木小学校

南学校

★ 中学校区で取組みを実施



セーフスクールの経験をセーフコミュニティへ



## 指標7 国内外のセーフコミュニティ

認証後

### ネットワークへの継続的な参加

2016年 事前・現地審査4件 認証式2件

2017年 事前・現地審査7件 認証式1件

2018年 事前・現地審査5件 認証式6件

2019年 事前・現地審査1件 認証式1件

2020年 事前・現地審査2件 認証式0件

2017年 国際会議(セルビア大会)

2018年 アジア会議(厚木大会)

※このほか、セーフコミュニティ定例会議、研修会等にも参加している。



# 課題と今後の展望①

## 1. 認知度の向上

特に、若い世代を対象とした広報・啓発活動

## 2. 取組み実施者の拡大

一人ひとりが実践できる取り組みの拡大・呼びかけ  
参加型取り組みの拡充

## 3. 連携・協働の新たな仕組みづくり

現在SC活動に参加していない団体や企業、地域や  
町会、学生などとの連携・協働

## 課題と今後の展望②

### 4.セーフコミュニティの必要性と効果のPR

#### 広報活動の拡充

- ・地域のラジオ放送やおもてなしTVの活用
- ・人が集まるスペースを活用
- ・出前講座の普及

### 5.将来の担い手の育成

ISS活動の経験がある生徒をSC活動の場へ。





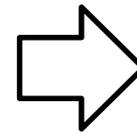
# 長期的な活動を確保するためのプログラム

## ①第2次秩父市総合振興計画 2016年度～2025年度(10年間)

基本方針

(5)社会基盤分野

① 安心安全なまちづくり



SCの活用を明記

## ②セーフコミュニティ推進条例 2016年3月制定

共助によるまちづくりを一層強力に推進することを決意し、条例を制定。議員提案による条例で、市民の意思がより市政に反映されるよう努める

ご清聴ありがとうございました



**国際認証都市**  
**セーフコミュニティちちぶ**